

子供たちを喜ばせたい

美深高養校
農業科

児童センター花壇を整備

【美深】美深高等養

護学校(大泉真哉校長)

の農業科3年生は13日、町幼児センターの花壇整備を行った。

この活動は生徒の実習と地域貢献活動を兼ねた取り組みとして毎年行われている。今回は幼児センター北側の道路沿いの長い花壇と、南側に設置されている小さい花壇3つの計4カ所に花を植えた。

今月6日に各花壇の

計測を行い、本来は11日に実施する予定だったが、悪天候のためこの日に延期となった。

生徒たちは今回の定植について、事前に花の配置や完成後のデザインについてアイデアを出し合って計画を立てた。今回はマリーゴールド、ペゴニア、パチュニアの3種の苗合計256株を植えた。



幼児センターの花壇に花を植えた

今回のデザインでは園児たちに喜んでもらえるように、南側中央の花壇は色とりどりのマリーゴールドを用いて笑顔を表現できるように配置。その両隣の花壇は同じ色のペゴニアで統一し、中央の花壇がより華やかに目に映るように工夫した。

この日は時折雨が降るなどしたが、実際に苗を配置すると事前計画での予想とは異なる印象となってしまうなどのアクシデントもあったが、作業後の生徒たちは「きれいに植えられる」と話し、花壇の出来栄えに満足していた。(安積祥紀)